

## 京都市動物園の概要及び主要事業

## 1 施設情報

## (1) 開園時間

ア 3月～11月

午前9時から午後5時まで（入園は午後4時30分まで）

イ 12月～2月

午前9時から午後4時30分まで（入園は午後4時まで）

ウ 夜間開園

閉園時間を午後8時まで延長（入園は午後7時30分まで）

平成30年度の実施については、年間12日間の実施を予定している。

## (2) 休園日

毎週月曜日（月曜日が休日の場合については、翌平日）、年末年始（12月28日～1月1日）

平成30年度は以下の3日間を臨時開園日として開園する。

※開園時間については通常どおり。

## (3) 入園料

入園料については、京都市動物園条例により以下のとおり定められている。このため、広報物に割引券を添付する等は、原則として不可であることを留意すること。

また、年間入園券については、購入日ではなく「初回入園日」から1年間有効となっている。

一般（大人）	600円
団体：一般が30名以上の場合	500円
中学生以下	無料
年間入園券	2,400円

※ 京都市内在住の70歳以上の方は本人無料（公的証明書の提示が必要）

※ 京都市内在住の70歳以上で介護保険認定者は、本人及び介護者1名無料（介護保険被保険者証の提示）

※ 身体障害者手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳、精神障害者保健福祉手帳、福祉乗車証の提示で本人及び介護者1名無料

※ 幼稚園・保育園・小学校・中学校による団体入園については、園児・児童等は中学生以下のため無料。引率教員（保護者を除く）については、入園届を提出することで入園料が免除となる。ただし、市外の幼稚園・小学校・中学校については、引率者の入園料が必要となる（保育園は市外であっても免除される）。

## (4) 施設の現況

- ・ 設置面積 41,383㎡
- ・ 建築面積 6,112.56㎡
- ・ 収容動物数（平成29年11月末現在）

種別	種	点
哺乳類	39	222
鳥類	45	169
は虫類	31	101

両生類	5	21
魚類	2	18
合計	122	531

※（参考）大都市動物園の敷地面積

園 館 名	敷地面積	園 館 名	敷地面積
京 都 市 動 物 園	41,383 m <sup>2</sup>	札 幌 市 円 山 動 物 園	224,780 m <sup>2</sup>
大 阪 市 天 王 寺 動 植 物 公 園	110,000 m <sup>2</sup>	仙 台 市 八 木 山 動 物 公 園	146,463 m <sup>2</sup>
神 戸 市 立 王 子 動 物 園	80,618 m <sup>2</sup>	広 島 市 安 佐 動 物 公 園	496,273 m <sup>2</sup>
東 京 都 恩 賜 上 野 動 物 園	142,898 m <sup>2</sup>	福 岡 市 動 植 物 園	103,206 m <sup>2</sup>
横 浜 市 立 金 沢 動 物 園	128,000 m <sup>2</sup>	到 津 の 森 公 園 (北 九 州 市)	106,000 m <sup>2</sup>
名 古 屋 市 東 山 動 物 園	322,100 m <sup>2</sup>	平 均	172,884 m <sup>2</sup>

(5) 再整備工事により整備したゾーン・施設

ア おとぎの国

- ・ オープン日：平成23年4月16日（一部オープン）  
7月16日（全面オープン）

基本テーマ「Life いのち」 いのちの尊さ、いのちのつながり

- 動物とのふれあい体験を通じて、いのちの尊さを伝える。
- ヒトとの関わりで生きてきた家畜や愛玩動物との関係や歴史が学べる場を提供する。
- 見て、触れて、感じるができる展示に取り組み、楽しみながら学べる場とする。

イ もうじゅうワールド

- ・ オープン日：平成24年4月28日
- ・ 基本テーマ「Diversity 多様性」 ～いろいろな違いを発見しよう～
- 大型から小型のネコ科動物の展示を通じて、生物の多様性を学ぶ場を提供する。
- 動物福祉の立場から環境エンリッチメントに取り組み、生き生きとした動物の姿を伝えられる展示を行う。
- 生息地の現状を伝えるとともに、生息地における保全活動と連携した活動に取り組む。

ウ アフリカの草原

- ・ オープン日：平成25年4月6日
- ・ 基本テーマ「Watch 観察 ～からだのつくりをくらべてみよう～」
- アフリカのサバンナで暮らしている大型草食獣、鳥類等を展示する。
- 環境に適応したからだのつくりや、生活様式の違いがわかるよう展示する。
- 生息地の現状を伝えるとともに、生息地における保全活動と連携した活動に取り組む。

エ ひかり・みず・みどりの熱帯動物館

- ・ オープン日：平成25年4月27日
- 熱帯に生息する両性は虫類・鳥類・夜行性獣を展示する。
- 太陽光を利用した給湯システムを採用し、環境に配慮する。

オ 東エントランス（ツシマヤマネコ繁殖施設）

- ・ オープン日：平成25年7月6日

- 東エントランスは、食べる楽しみ、買う楽しみを提供するカフェ・売店や展示室、トイレ、授乳室等を備え、利便性に優れた快適な空間を創出することで、地下鉄「蹴上駅」利用者の増加にも寄与する。
- 国内で最も絶滅の恐れが高い種の1つであるツシマヤマネコを、非公開のツシマヤマネコ繁殖施設で繁殖に取り組み、野生動物の保全に直接的に寄与する。

#### カ ゴリラのおうち～樹林のすみか～

- ・ オープン日：平成26年4月27日
- 樹上生活性の高いニシゴリラの行動を引き出すためにフェンスで覆った展示場内にポールやロープを設置し、空間を三次元で活用する。
- 屋内展示室や屋外展示場には強化ガラスを使用し、指や目などの形態や特徴、行動様式を間近で観察することができ、かつ声や臭いが感じられるような展示を行う。
- 多目的室を設け、健康管理のためのトレーニングの様子や比較認知科学の研究の様子を通じ、ニシゴリラの知性を感じることができる展示を目指す。

#### キ ゾウの森

- ・ オープン日：平成27年2月28日（ラオスからのゾウお披露目）  
27年7月4日（全面オープン）
- ・ 基本テーマ【Wonderful/Great 驚き】～知性と大きさに感動～
- アジアゾウのトレーニングを通して、知性が感じられる展示とする。
- アジアゾウの群れ飼育が可能な施設を整備し、繁殖を目指す。

#### ク 正面エントランス（学習・利便施設）

- ・ オープン日：平成27年7月11日
- 動物園に入園しなくても利用可能なレストラン、グッズショップ、図書館カフェ等のサービス機能及び展示室、レクチャールーム、図書館の学習施設としての機能を複合的に兼ね備えた施設とする。
- 教育機関や大学等の研究機関と連携し、教育及び研究活動を推進し、楽しみながら学ぶための情報発信機能を備えた施設とする。

#### ケ 京都の森

- ・ オープン日：平成27年9月5日
- ・ 基本テーマ【Discovery 発見】～豊かな森を感じてみよう～
- 京都の豊かな自然を伝え、ヒトと野生動物の関わりを学ぶ。
- 身近な自然に関する情報を展示・提供し、地域の自然環境保全に貢献する。
- 希少淡水魚類であるイチモンジタナゴの保全・繁殖を行う。

## 2 入園者数の実績

(1) 年間総入園者数及び開園日数（29年度の総入園者数については、11月末までの集計）

年度	開園日数	総入園者数
26年度	314日	819,892人
27年度	313日	1,206,160人
28年度	311日	951,983人
29年度	313日	678,085人

## (2) 月別入園者実績（有料・無料入園者別）

	平成28年度			平成27年度			平成26年度		
	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計
4	72,303	58,751	131,054	46,074	58,140	104,214	42,731	53,583	96,314
5	76,462	80,962	157,424	54,434	80,962	135,396	51,599	75,715	127,314
6	27,952	26,562	54,514	21,988	29,950	51,938	20,434	28,407	48,841
7	23,213	18,886	42,099	17,436	21,902	39,338	13,158	17,237	30,395
8	28,384	24,050	52,434	24,370	29,465	53,835	22,014	25,720	47,734
9	31,677	31,459	63,136	61,185	77,201	138,386	42,206	53,219	95,425
10	52,019	63,637	115,656	51,363	94,520	145,883	31,788	67,193	98,981
11	41,708	47,603	89,311	47,481	73,329	120,810	32,719	49,944	82,663
12	18,983	24,281	43,264	26,834	35,089	61,923	8,569	12,477	21,046
1	25,253	21,280	46,533	42,980	51,089	94,069	14,971	18,230	33,201
2	23,663	20,827	44,490	38,167	46,138	84,305	16,468	20,589	37,057
3	55,042	57,026	112,068	76,110	99,953	176,063	41,581	59,340	100,921
計	476,659	475,324	951,983	508,422	697,738	1,206,160	338,238	481,654	819,892

	平成29年度		
	有料	無料	合計
4	63,527	52,930	116,457
5	66,600	69,198	135,798
6	33,021	30,157	63,178
7	19,775	16,678	36,453
8	32,375	28,688	61,063
9	39,312	39,229	78,541
10	34,739	49,826	84,565
11	49,730	52,300	102,030
12			
1			
2			
3			
計	339,079	339,006	678,085

## 3 京都市動物園年間主要事業（29年度実績）

## (1) 野生動物学のすすめ

ア 実施時期 4月16日（日）

イ 内容 野生動物保全に関する教育及び研究に関連したイベントで、展示や講演会、体験型学習プログラム等を開催する。

## (2) 納涼イベント「ゾウさんおたべやす スイカ in プール」

ア 実施時期 7月：土・日・祝日及び19日（水）以降の平日

8月：休園日を除く毎日

9月：土・日・祝日

イ 内容 ゾウさんの大好物のスイカをプールに投入し、食べる姿をご覧ください。

(3) 納涼スポット「スパウティングウォーター」

ア 実施時期 7月：土・日・祝日及び19日（水）以降の平日

8月：休園日を除く毎日

9月：土・日・祝日

イ 内容 正面エントランスの芝生広場の一角に、子どもの水遊び場としてスプリンクラーによる散水を実施する。

(4) プレミアムフライデーin the ZOO ナイトツアーwith ビア

ア 実施時期 7月28日（金）、8月25日（金）、9月29日（金）、10月27日（金）

イ 内容 岡崎地域の更なる夜の賑わい対策と働き方改革の趣旨も踏まえて野生動物や動物園の魅力伝える講演、夜の動物園ガイドツアー及び飲食をセットにしたイベント。

(5) ゾウの繁殖プロジェクトに関する記念講演会及び企画展

ア 実施時期 7月1日（土）

イ 内容 動物園では、ラオスからゾウ4頭の寄贈を受け、ラオス国立大学林学部、京都大学野生動物研究センターと学术交流及び研究協力を行いながらゾウ繁殖の研究を行っており、その取組に関連して、ラオス人民民主共和国から関係者を招へいし、園内で記念講演等を実施する。

(6) セタスペシャル

ア 実施時期 7月2日（日）（6月募集）

イ 内容 来園者がエサやり等の動物園で実施したいことを募集し、当選者に実現していただくイベント。

(7) 動物たちへの氷のプレゼント

ア 実施時期 7月17日（月・祝）

イ 内容 動物たちに氷柱をプレゼントし、氷柱で涼をとる動物を観察する。

(8) サマースクール

ア 実施時期 7月25日（火）～28日（金）、8月1日（火）～4日（金）（6月募集）

イ 内容 小学3年生～高校生を対象に、動物園の飼育体験プログラムを実施する。

(9) 夜間開園

ア 実施時期 4月1日（土）、4月2日（日）、8月11日（金）～8月14日（月）、9月16日（土）～18日（月・祝）、10月7日～9日 計12日間

イ 内容 動物園の開園時間を午後8時まで延長し、ライトアップを行う。また、京都市交響楽団のメンバーによるミニコンサート等を実施。

(10) 園長はんとお散歩

ア 実施時期 10月7日（土）、11月4日（土）、12月2日（土）

イ 内容 造園技術職の園長が動物園の歴史・役割や動物のエピソードを交え、動物園の魅力伝えるガイドツアー。

(11) やまねこ博覧会

ア 実施時期 10月14日（土）～15日（日）

イ 内容 動物園で絶滅の恐れが高いツシマヤマネコの繁殖に取り組んでいることから、企画展や保全関係者によるブース出展、各種イベントを実施する。

(12) クリスマスコンサート、ウィンターコンサート

ア 実施予定時期 12月23日（土・祝）及び1月8日（月・祝）

イ 内容 京都市立岡崎中学校吹奏楽部によるコンサートを実施する。

(13) ゾウ温泉

ア 実施予定時期 1月7日（日）、2月4日（日）

イ 内容 プールに温水を入れ、ゾウに水浴びを楽しんでもらう。

(14) 動物人気投票

ア 実施予定時期 2月（詳細未定）

イ 内容 テーマに沿った動物の人気投票を実施する。

4 京都市動物園サポーター制度（京都市動物園Zoo〜っとサポーター）

個人や企業・団体等による動物の餌代や京都市動物園整備等への寄付を通じ、動物園の運営に参画することで動物園を更に身近に感じていただくとともに、一層の財源の確保を目的として「京都市動物園サポーター制度」（京都市動物園Zoo〜っとサポーター）を平成26年6月から開始している。制度の概要については以下のとおり。

(1) 商品提携サポーター

年間20万円以上の寄付額が見込まれる商品を認定し、その販売を通じて、動物園に対して売り上げの一部を御寄付いただくもの。認定商品には動物園ロゴマークや名称（KYOTO CITY ZOO等）を表示する。

(2) 看板広告サポーター

動物舎への広告看板の設置を通じて動物園を支援していただく。看板は1枠2㎡程度、広告料は年額50万円。

(3) 餌代サポーター

飼育展示している動物の餌代として、1口10万円（複数口可）の御寄付を頂いた場合、希望により企業等の名称を印刷したプレート（縦15cm×横30cm程度）をゾーン看板又は動物種名看板付近に、寄付の翌月から1年間掲示する。

(4) 提案型サポーター

他の制度に該当しないもので、協議により決定した内容で動物園を支援していただくもの。

例として、動物園の事業に対する支援（ゾウの繁殖プロジェクト等）、サポーターとのコラボレーションによる動物園のPR、動物園に対する物品や役務の供給等がある。